

放射線技術科のご案内

当放射線技術科は診療放射線技師 2 名で各種の放射線画像診断検査を実施しています。みなさまに安心して放射線検査を受けていただけるよう『高い安全性を確保しながら、最適で良質な画像を提供します』を基本方針に掲げ取り組んでおります。患者さんの診断に十分寄与できる高度な画像情報を各診療科へ提供できるよう日々努力しています。



放射線被ばくについて

私達が日常生活していて、大地や食べ物、空気中に含まれている物質、地球の外から注がれる宇宙線といった、様々な形で避けるこのできない自然放射線を受け続けています。平均すると年間 2 ミリシーベルトほどの被ばくをしています。

現在医療で使われている X 線検査と自然放射線一年分を比較した場合、例えば胸部 X 線写真一枚は、約 20 分の 1 の量といわれておりいかに少ないかが分かると思います。

放射線技師は、検査のための被ばくを少しでも減らすよう日々努力をしています。



業務内容

当科は、以下に示す画像診断装置を使用し、画像診断検査全般を行っています。RIS (放射線情報システム)・PACS (画像保管システム) を有し、フィルムレス化により迅速な検査を行い、画像および画像診断報告書を各診療科へ提供しています。

X 線撮影装置 : (1 台)

低線量でありながら最適な画像を提供できる利点を持っている直接変換方式フラットパネルを使用し、胸腹部や骨の X 線写真を撮影します。当院は自施設の被ばく線量を測定しガイドラインと比較したうえで、最適な画像を提供しつつ被ばく低減に努めております



X線 CT 装置 : (1 台)

0.5mm の薄い断面データを取得できる性能を持った 16 列 CT 装置を導入しており、短時間で広範囲・高解像度の撮影ができます。例えば胸部から骨盤まで 10 数秒の息止めで検査が可能です。また、ヨード系造影剤による造影 CT 検査や多断面の画像作成、肺気腫解析なども行っています。



X線 TV 装置 : (1 台)

フラットパネルを搭載した X 線 TV 装置で、低線量かつ高画質で検査が行えます。各種透視検査を行っています。



骨塩定量装置 : (1 台)

DEXA 法による専用の装置を用いて骨密度を測定します。前腕で測定し、骨粗しょう症の診断や治療の経過観察などに用いられています。



ポータブル X 線撮影装置 : (1 台)

安静が必要で撮影室に行くことができない場合は、病室にて X 線撮影を行います。

